

2025年1月27日

理化学研究所 放射光科学研究センター

## 1. 背景

国際的な XFEL 施設の普及を受け、SACLA の利用者からは、現状を超えたさらに高度な利用の実現が望まれるようになりました。利用者の要望に応えながら SACLA の特色をさらに伸ばし、ユニークな成果の創出につなげるため、2018 年度より「SACLA 基盤開発プログラム」を開始しました。2021 年度からは、SPring-8 における同様なニーズの調査も兼ねて、「SACLA/SPring-8 基盤開発プログラム」として、SPring-8 における提案も受け付けています。

本プログラムでは、国内外の利用者の皆様から SACLA と SPring-8 における基盤開発テーマの提案を募集し、施設として重点的に推進すべきターゲットを選定した上で、開発を実施します。

## 2. プログラムの概要

「SACLA/SPring-8 基盤開発プログラム」は、国内外の利用者の皆様から、SACLA と SPring-8 における新規の実験装置や計測システムといった基盤開発テーマの提案を頂き、その中から施設として重点的に推進すべきターゲットを選定し、実施するものです。

以下のように、新規提案とともに、過去に本プログラムに採用された課題の継続提案も受け付けます。ただし、2025 年度向け募集から、継続提案については 3 章に示す通り制限が設けられています。

[カテゴリー A] 新規提案

[カテゴリー B] 継続提案

4 章に示す審査を経て、数課題が選択される予定です。[採択 I] (4.2 章参照) の課題については、予算やフィージビリティ等を考慮しながら、理研放射光科学研究センター (RSC) が具体的な実施計画を策定し、課題代表者及び参画者 (以下「提案グループ」と呼ぶ) と緊密に連携しながら開発を行ないます。さらに、提案グループと RSC が共同でビームを使ったコミッションングを行なった後、共用に供されます。また、利用支援を適切に実施するため、登録機関が開発支援に関わることがあります。

[採択 II] の課題については、提案グループと RSC が共同で、将来の開発実施の可能性を調査するためのフィージビリティスタディを行ない、報告書を作成頂きます。本件についても、登録機関が調査支援に関わることがあります。

採択後の課題実施の詳細については 5 章をご参照下さい。

## 3. 応募資格

本プログラムにはどなたでも応募可能です。ただし、継続提案については、以下の通り継続回数に制限があります。

- 前年度に採択 I のカテゴリーで採択された課題：  
採択 I のカテゴリーでの継続 (延長) は 1 度までとします。前年度までの 2 年間に連続して採択 I のカテゴリーで採択された課題については、翌年の継続提案の対象とはなりません。
- 前年度に採択 II のカテゴリーで採択された課題：  
継続提案が採択される場合は採択 I のカテゴリーに限定されます。採択 II のカテゴリーで連続して採

扱われることはありません。

## 4. 審査

### 4-1. 方法

本課題の審査は、RSC の内部委員とその他の有識者の外部委員から構成される「SACLA/SPring-8 基盤開発プログラム評価委員会」において書類審査によって行ないます。必要に応じ、課題提案者に対してオンラインヒアリングを行うことがあります。

### 4-2. 結果

採択課題は、以下の2つのカテゴリーに分類されます。

[採択 I] 直ちに開発に着手するもの

[採択 II] 開発の前段階としてフェージビリティ調査を実施するもの

また、同様の提案が複数あった場合、これらをマージした上で一つの開発テーマとして設定させて頂くことがあります。

### 4-3. 基準

審査基準は、以下のとおりです。

[カテゴリーA]

- ユニークな性能が達成されること
- 既存装置と比較して独自性・優位性が認められること
- 高インパクトのサイエンスが期待できること
- フェージビリティが合理的に示されていること
- 共用化を前提とした装置の提案であること。特定ユーザーのみの永続的な専有利用を前提とするものは対象外とする。

[カテゴリーB]

- 課題を継続する妥当性・必要性が認められること

## 5. 課題の実施

### 5-1. 実施経費

基盤開発に関わる費用は理研が負担します。研究開発委託費ではありませんので、提案グループの構成員の所属機関に対する開発費・旅費等の経費配分はありません。また、本課題により整備された装置や計測システムは、理研が資産管理を行います。

一課題あたりの開発費用の上限は、2,500万円を目安とします。予算計画はRSCが策定しますが、参考のために、申請書には、開発費用の概算見込みをご記載下さい。概算見込みが上限を超える場合には、事前に問い合わせ先までご相談下さい。

### 5-2. 実施期間

2025年5月(予定)から2026年3月まで

\*本プログラムは2026年度も継続を予定しておりますが、予算の状況に応じます。

### 5-3. 実施形態

採択された場合、原則として、提案グループの構成員はRSCの客員研究員になっていただいた上で、課題を実施いただきます。提案グループの課題代表者及び参画者は、提案課題の実施開始までに、本提案課題の実施にあたって理研の客員研究員として兼業頂くことについて、それぞれの所属機関の同意（所属機関の長又は権限委任された人の同意）を得ておく必要があります。

#### 5-4. 公開

採択された課題については、SACLA/SPring-8 ホームページにて課題名・提案グループ等を公表します。また、SACLA Users' Meeting 等において、進捗報告の場を設ける予定です。実施期間の終了時には報告書を提出いただきます。得られた成果も広く公開します。

### 6. 提案書類の作成・提出方法

#### 6-1. 提案書類の様式

- (1) 提案書類は様式に沿って作成下さい。様式の入手を希望される方は [saclainst@spring8.or.jp](mailto:saclainst@spring8.or.jp) にご連絡下さい。
- (2) ページ数の制限はありませんが、簡潔かつ明瞭をお願いします。

#### 6-2. 提出

- (1) 提案書類（PDF形式）は [saclainst@spring8.or.jp](mailto:saclainst@spring8.or.jp) に添付ファイルでご提出下さい。
- (2) 提案は、課題代表者が行って下さい。
- (3) 課題代表者は、参加する全ての機関・組織の了承を取った上でご提出下さい。
- (4) 提案書類については、内容に関する秘密は厳守いたします。

#### 6-3. 提出締切

2025年3月2日（日）

### 7. スケジュール

公募開始以降のスケジュールは以下の通りです。

- 2025年1月27日 公募開始
- 2025年3月2日 公募締切
- 2025年3月下旬～4月上旬（予定）ヒアリング（オンライン）
- 2025年4月下旬（予定）結果通知、客員研究員手続き準備
- 2025年5月（予定） 課題開始
- 2026年3月（予定） 成果・進捗報告（報告書提出、SACLA Users' Meeting での報告）

### 8. 提出先・問い合わせ先

申請書の提出先、及び本公募に関するお問い合わせ先は下記のとおりです。

理化学研究所 放射光科学研究センター

e-mail : [saclainst@spring8.or.jp](mailto:saclainst@spring8.or.jp)

以上